

改訂日 2022年4月15日(第3版)

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	アドビオン® LS ジェル
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(呼吸器系)
環境に対する有害性	水生環境有害性、短期(急性)	区分3
	水生環境有害性、長期(慢性)	区分3

\* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	臓器(呼吸器系)の障害のおそれ 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

**【安全対策】**  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。  
取り扱い後は、皮膚をよく洗う。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。  
環境への放出を避ける。

**【応急処置】**  
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡する。

**【保管】**  
施錠して保管する。

**【廃棄】**

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	(S)-N-[7-クロロ-2,3,4a,5-テトラヒドロ-4a-(メキシカルボニル)=インデン[1,2-e][1,3,4]オキサジアジン-2-イルカルボニル]-4'-(トリフルオロメキシ)カルバニリド酸メチル
一般名	インドキサカルブ

成分	含有量	化学特性 (化学式)	官報公示 整理番号	CAS番号
インドキサカルブ	0.6%	C <sub>22</sub> H <sub>17</sub> O <sub>7</sub> N <sub>3</sub> F <sub>3</sub> Cl	8-(7)-1317	173584-44-6
その他保存剤等 (水酸化ナトリウム)	99.4% (1%)	— (NaOH)	— (1-410)	— (1310-73-2)

**4. 応急措置**

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

**5. 火災時の措置**

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、噴霧放水 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。

特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。
消火を行う者の保護 詳細情報	分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。 完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。 消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行う。
環境に対する注意事項	地表水や下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	漏出物を封じ込めて専用の電気掃除機または湿ったブラシで集め容器に回収し、地域/国の規制に従って廃棄する(「13. 廃棄上の注意」を参照)。 ブラシや圧縮空気を使用して粉末を雲状に発生させない。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人用保護具に関する情報については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。</li> <li>・火災に対する特別な保護対策は必要ない。</li> <li>・眼や皮膚への接触を避ける。</li> <li>・取扱い時には飲食、喫煙をしない。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気のよい冷暗所で、密閉容器に入れて保管する。</li> <li>・小児の手の届く所には置かない。</li> <li>・食品、飲料や飼料と区別して保管する。</li> </ul>

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばく露が避けられない場合、放出源を密閉および/または隔離する。</li> <li>・保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。</li> <li>・空気中の濃度を暴露限度以下に保つ。</li> <li>・必要に応じて、労働衛生関連追加情報を求める。</li> </ul>
------	--

管理/許容濃度 インドキサカルブ	TWA 1mg/m <sup>3</sup> (吸引性粉じん)	供給元
---------------------	---------------------------------	-----

水酸化ナトリウム	OEL-C 2mg/m <sup>3</sup> C 2mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会(許容濃度) ACGIH
保護具	呼吸器用の保護具  手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	通常必要なし。作業者がばく露限界濃度を超える濃度で作業する場合は、適切な保護マスクを着用する。  特に必要なし 特に必要なし 作業内容に応じて選択する

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	褐色
引火点	引火しない クローズドカップ法
pH	7.3
密度	1.141 g/cm <sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下で安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	既知の有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

製品の情報			
急性毒性			
経口	LD50	ラット(♀)	>5,000 mg/kg
経皮	LD50	ラット	>5,000 mg/kg
皮膚腐食性/皮膚刺激性		ウサギ	なし
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性		ウサギ	なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性		マウス	なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)		区分1(呼吸器系)に分類される水酸化ナトリウムが製品中に1%以上10%未満含まれることから区分2(呼吸器系)とした。	
インドキサカルブの情報			
生殖細胞変異原性		動物実験において変異原性を示さなかった。	

発がん性  
生殖毒性

動物実験において発がん性の証拠は得られなかった。  
動物実験において生殖毒性を示さなかった。

## 12. 環境影響情報

インドキサカルブの情報

生態毒性

魚毒性:	ニジマス	LC50 (96h)	0.65 mg/L
甲殻類毒性:	ミジンコ	EC50 (48h)	0.6 mg/L
藻類毒性:	イボウキクサ	EC50 (14d)	> 84.3 mg/L

## 13. 廃棄上の注意

注意事項

保管や処分により貯水や食料・飼料を汚染させないようにする。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去し、3回すすいだ後に適切に処分する。  
空容器は再利用しない。  
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

非該当

国内規制

非該当

輸送時の安全対策

[積載]国及び地方自治体の輸送に関する法律を遵守する。容器に収納し、常に密閉状態を保つ。容器などが転倒し、又は破損することのないように積載する。有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。梱包が破れないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

## 15. 適用法令

薬事法

第2類医薬品

労働安全衛生法

法第57条(施行令第18条)通知・表示義務対象物質  
水酸化ナトリウム

化管法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

非該当

## 16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証

するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門

電話番号

HSEグループ

03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「アドビオン」はシンジェンタ社の登録商標です。